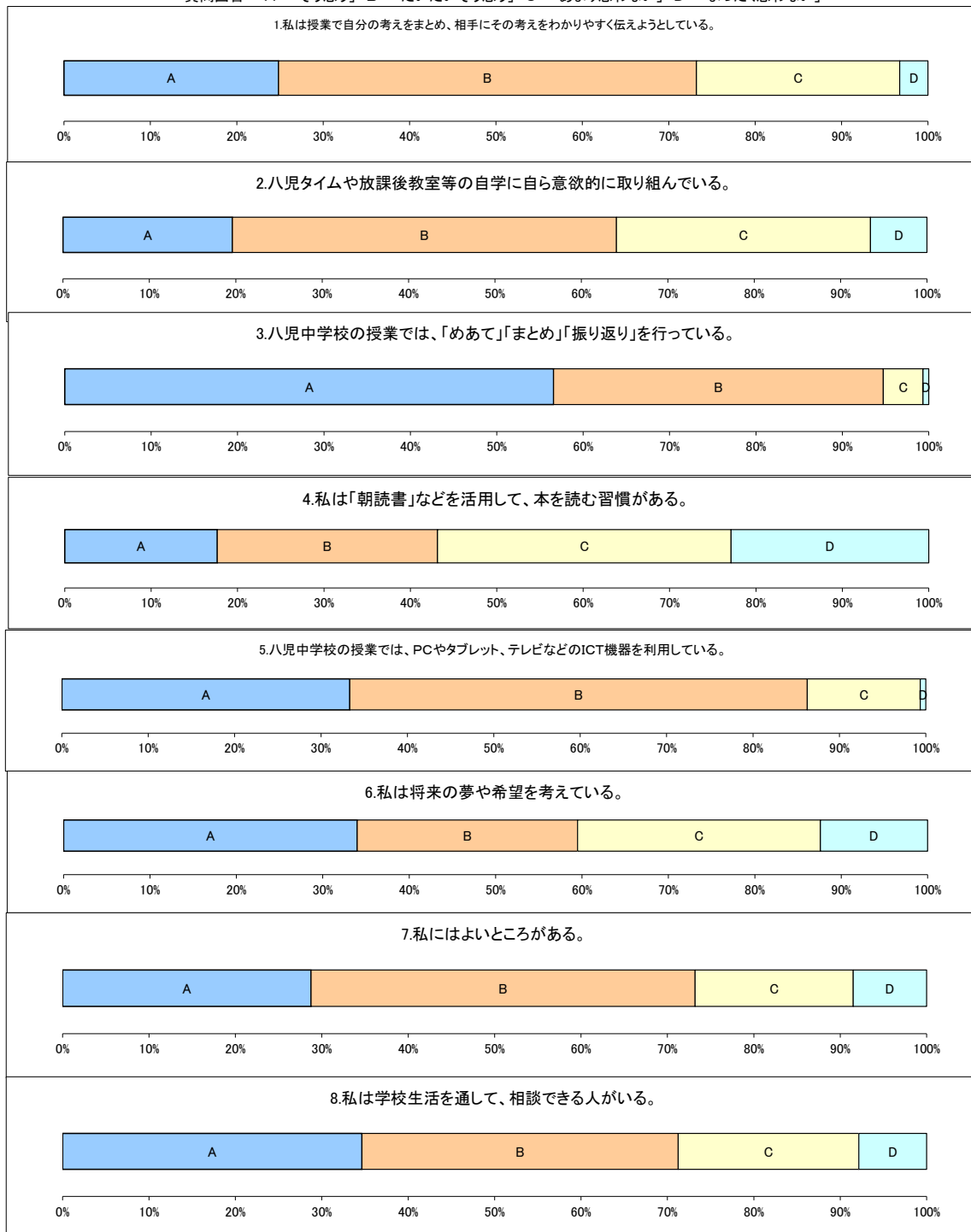


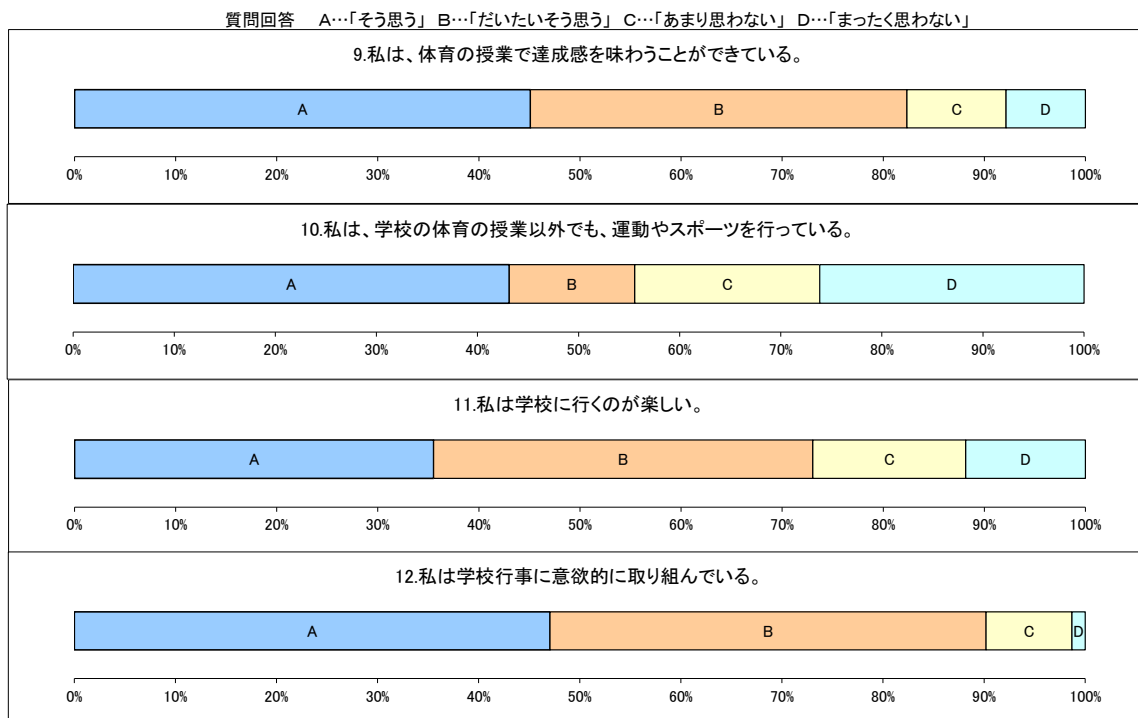
3学期の学校アンケートを生徒対象に実施しました。本校は、「人との繋がりの中で心を育み、意欲的に学び、自ら考動する生徒の育成」という学校教育目標を掲げ、「規律ある生活習慣の確立」「確かな学力の育成(授業規律・授業改善・家庭学習習慣の確立)と体力の向上」「組織的・機動的な生徒指導体制の確立」という重点目標をもとに日々の教育活動に取り組んでいます。

このアンケート結果をもとに次年度以降の教育活動に生かしてまいりますので、今後、一層の教育活動へのご協力よろしくお願いいたします。

令和4年度 学校アンケート(生徒用)[3学期]

質問回答 A…「そう思う」 B…「だいたいそう思う」 C…「あまり思わない」 D…「まったく思わない」





○ 3回のアンケートを通して

1学期と2学期では、いくつかの項目で値の変化が見られたが、2学期と3学期では、どの項目もほぼ同じ値となった。

○ 学校生活について

「12. 私は学校行事に意欲的に取り組んでいる」について、肯定的に答えた生徒の割合が、約9割と高い割合である。八見中学校では、稲作体験学習を中心として、体育大会や文化発表会、校外学習等、数多くの学校行事がある。また、各行事において、実行委員会を発足し、生徒自身の手で学校行事を創り上げたという自負と熱意があることが要因である。どの行事に対しても全生徒が一生涯懸命に取り組むことで感慨深いものとなり、このことが結果に繋がっている。

○ 読書について

「6. 私は「朝読書」等を活用して、本をよむ習慣がある」について、肯定的に答えた生徒の割合は、約4割である。学校全体の取組として、学校図書館職員とブックヘルパーが協力して、各学年の廊下にブックワゴンを設置したり、子ども読書の日の取組として、全校で読書に取り組む時間を確保したりした。また、文化委員会では、子ども読書の日に全生徒に本の紹介を行う取組をしたり、お年玉キャンペーンとしてやしおりを配布したりするなどの取り組みを行った。八見タイムでも読書の時間を確保したが、時間が不足していたので来年度は、八見タイムの中で読書の時間を確実に確保するなど、学校生活の中で本とふれあう時間を確実に確保できるように次年度当初に計画する。

○ 自学・家庭学習について

「2. 八見タイムや放課後教室等の自学に自ら意欲的に取り組んでいる。」について、肯定的に答えた生徒の割合が、約6割である。放課後教室については、部活動が休みになる定期考査の前の放課後に時間を設定し、生徒の質問に答える体制を作った。参加人数は、学年が上がるほど多くなっており、学習に対する意欲の高まりが感じられる。しかし、参加する生徒が固定化されていたり、質問を考えてくるのではなく、どこが考査に出題されるかを聞くだけという生徒がいることも事実である。家庭学習定着のためには、計画的な学習と地道な家庭学習が大切である。ご家庭でもお子様に対する声掛けよろしく願います。